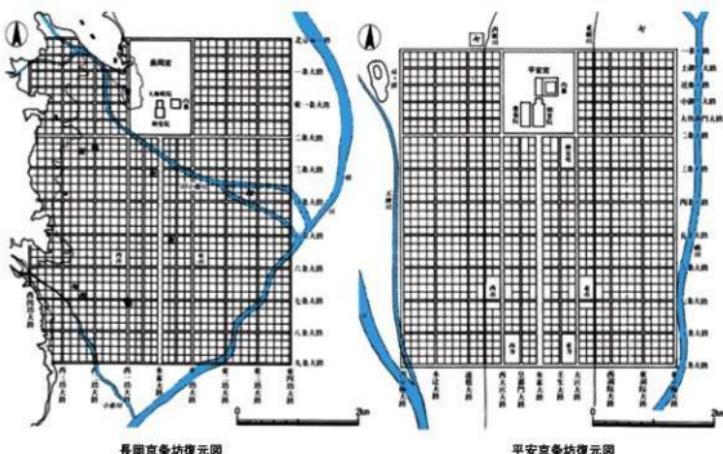


# 長岡京と平安京 —桓武朝の都城—

<http://www.kyoto-arc.or.jp>  
(財) 京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



長岡京条坊復元図

平安京条坊復元図

延暦3年(784)11月、桓武天皇は74年続いた平城京を廃棄し、山背国乙訓郡長岡村に遷都を断行した。この山背遷都によって、都是大和を離れることとなり、同時に、副都であった難波京も廃止されたのである。

しかし、長岡京はわずか10年で廃棄され、延暦13年(794)10月、同じ山背国葛野郡宇陀村の地に平安京が造営され、再び遷都が行なわれたのである。

桓武天皇の二度にわたる宮都の造営と遷都の原因は從来より洪水説・怨霊説など種々であるが、古代史では、両宮都の造営を同一線上にとらえる見解が主流を占めている。ここで遺跡から見た桓武朝の宮都の特徴をながめてみよう。

## 長岡京

京は、乙訓郡のはば中央部に位置し、西北から東南に旧小畠川が流れ、桂川と合流し大阪湾に注ぐ淀川となる、水運の便にたけた所である。また陸路は西に山陰道、南に山陽道、東北に東海道を通じる位置にある。長岡京は、從来宮都としてどこまで整備されていたかなど疑問視されていたが、近年発掘調査により都域の体裁がかなり整っていたことが判明した。

宮は、東西約1.0km、南北約1.6kmの範囲が推定されているが、発掘調査の成果から更に南北に広がる可能性がある。大極殿院は宮の中心に位置し、複廊で囲まれ、東西104m(347尺)、南北122m(404尺)ある。大極殿は、七間四面で

後殿とともに院内に独立し、殿舎配置は平安宮にも踏襲される。朝堂院は、大極殿の南に接し、後期難波宮と同様に八堂の建物で構成され、159m(530尺)四方の正方形で、規模はほぼ後期難波宮と一致する。大極殿院・朝堂院で出土する軒瓦の約90%が後期難波宮所用瓦であることからも、これらの中心建物は難波宮から移築されたと考えられる。

内裏は大極殿院の東に位置し、朝堂院と同じく159m(530尺)四方の正方形で、築地回廊で囲まれる。ここは、第二次内裏(東宮)に推定されている。また、宮の北部では、堀に囲まれた敷地内に池や石組構をともなった礎石建ちの倉庫が発見された。このことから、



長岡京・平安京遠望

天王山上空から比叡山を望む。手前に長岡京、その向こうに平安京があった。

この地区に平安宮と同様に大蔵の  
ような施設があったと推定されて  
いる。

京の条坊規格は、平城京と同様  
天平尺の1800尺（約533m）を基  
準とする方眼で割りけられ、造営  
尺は29.6cmが想定されている。た  
だし、道路の割り付けが違うこと  
から京域内の一町の大きさが各部  
分で異なっている。坊敷は東西各  
四坊と平城京・平安京と同じであ  
るが、南北は十条と広く、調査成  
果から更に広がる可能性がある。  
また東海道などに通じる横大路の  
延長の五条糸間小路が、計画線よ  
り大幅に南にずれることや、現在  
推定している大路小路の道路幅が  
発掘調査の結果異なるなど、そ  
の位置確定に様々な問題を残して  
いる。

#### 平安京

京は、京都盆地の中央に位置し、  
葛野・愛宕・紀伊の三郡にわたっ  
ている。三方を山に囲まれ、西を  
桂川、東を鴨川が南流し、「四神相  
応の地、山河襟帶自然に城を作す」とい  
われ、長岡京と同様、水運に  
たけた所である。平安京は、律令

制最後の都城であり、我が国古代  
都城の集大成ともいわれる。

宮は、京の中央北辺に位置し、  
東西約1.2km(384丈)、南北約1.4km  
(460丈)の長方形で、近衛家や九  
条家に伝わった古絵図などから官  
衙配置が復元されている。大極殿  
は、宮の中央に位置している。現  
在の千本丸太町交差点にあたるが、  
調査ではまだよくわかっていない。  
しかし、大極殿を囲む回廊を確認  
したことから位置が想定でき、中  
心は朱雀大路と中御門大路の中軸  
線を延長した交点にほぼあたる。  
朝堂院は、大極殿と一体となり、  
わずかに龍尾壇によって区画され  
るだけである。規模は、東西約167  
m (56丈)、南北約465m (156丈)  
と、長岡宮とは異なり、平城宮第  
二次朝堂院に近い値を示す。また  
院内の建物は、長岡宮では八堂で  
あったのが平城宮と同様に十二堂  
からなっている。

内裏は、朝堂院の東北に完全に  
分離して位置し、規模は東西約167  
m (56丈)、南北約212m (71丈)  
に推定されている。調査で内裏南  
面中門である承明門を確認したこ

とから内裏の中軸が確定した。し  
かもこの調査では、門の北側に輪  
宝・鏡などを埋納した地鎮遺構も  
検出された。朝堂院の西には、大  
嘗会をはじめ、年中の諸節会や宴  
などが行なわれる農楽院がある。  
規模は東西約167m (56丈)、南  
北約400m (134丈)で、朝堂院  
の南北長より22丈短い。調査でそ  
の正殿の農楽殿の北西部が発見さ  
れ、九間四間の東西棟であること  
が判明した。そのほか官衙は、造  
酒司や中務省などで主要な建物な  
どを検出しているが、平城宮内の  
ように頻繁な建て替えはあまり認め  
られない。

京は、東西約4.7km、南北約5.2km  
の南北に細長い長方形で、南北は  
長岡京より短く、平城京よりも土  
御門大路以北に北辺が加えられ  
たため長い。宮周辺道路も平城京  
の8丈・10丈を10丈・12丈と拡  
幅している。条坊規格は40丈（約  
120m）を基準に一町を構成する  
ことから、従来の京とは異なり、  
京域内の宅地規模に対する差はな  
い。更に一町は四行八門制により  
32分割され、それを一戸主と称し、  
宅地班給最小単位とした。造営尺  
は、29.847cmが想定される。

長岡・平安両京の造営には、以  
上あげたような相異があるが、改  
良されたのは、長岡京での部分的  
区画の統一、その発展としての平  
安京での統一基準による宅地区画  
の採用がある。しかも平安京では  
その規格が官衙配置まで影響する  
など、徹底して用いられ、ここに  
桓武朝都城の条坊制における帰結  
点の一つがみいだせる。